

みずほCustomer Desk Report 2024/01/10号 (As of 2024/01/09)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.95
TKY 9:00AM	144.22	1.0950	157.94	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	144.62	1.0965	158.00	1.2742	0.6716
SYD-NY Low	143.43	1.0911	157.25	1.2761	0.6734
NY 5:00 PM	144.47	1.0931	157.94	1.2690	0.6677
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,525.16	▲ 157.85	日本2年債	0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	14,857.71	13.94	日本10年債	0.5800%	▲0.0200%
S&P	4,756.50	▲ 7.04	米国2年債	4.3653%	▲0.0072%
日経平均	33,763.18	385.76	米国5年債	3.9708%	▲0.0131%
TOPIX	2,413.09	19.55	米国10年債	4.0143%	▲0.0115%
ソコ日経先物	33,920.00	▲ 5.00	独10年債	2.1875%	0.0650%
ロンドンFT	7,683.96	▲ 10.23	英10年債	3.7775%	0.0090%
DAX	16,688.36	▲ 28.11	豪10年債	4.1160%	▲0.0550%
ハンセン指数	16,190.02	▲ 34.43	USDJPY 1M Vol	10.31%	▲0.34%
上海総合	2,893.25	5.71	USDJPY 3M Vol	9.90%	▲0.15%
NY金	2,033.00	▲ 0.50	USDJPY 6M Vol	9.76%	▲0.12%
WTI	72.24	1.47	USDJPY 1M 25RR	▲1.20%	Yen Call Over
CRB指数	264.69	3.04	EURJPY 3M Vol	9.61%	▲0.12%
ドルインデックス	102.57	0.36	EURJPY 6M Vol	9.63%	▲0.12%

【昨日の指標等】

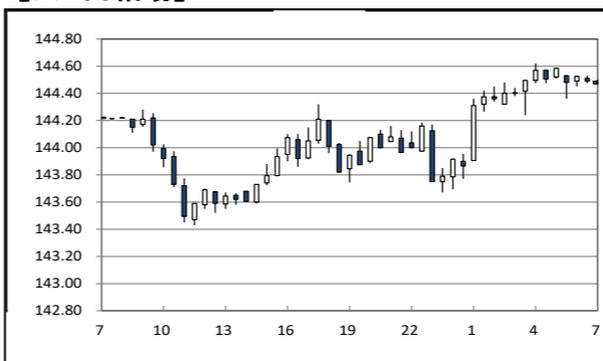
Date	Time	Event	結果	予想
1月9日	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	12月 2.4%/2.1%/3.5%	2.5%/2.1%/3.5%
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	11月 2.0%	1.2%
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 -0.7%	0.3%
	19:00	欧 失業率	11月 6.4%	6.5%
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$63.2b	-\$64.9b
1月10日	02:00	米 バーFRB副議長 講演	銀行向け緊急貸出制度の延長の可能性は低い	

【本日の予定】

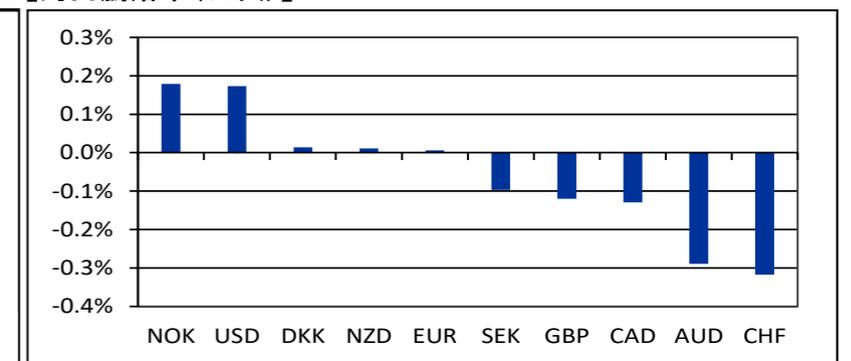
Date	Time	Event	予想	前回
1月10日	16:45	仏 鉱工業生産(前年比/前月比)	11月 0.3%/0.0%	1.8%/-0.3%
	16:45	仏 製造業生産(前年比/前月比)	11月 -	1.0%/0.1%

東京	東京時間のドル円は144.22レベルでオープン。朝方発表された12月の東京コアCPIは前月から伸びを縮小したが、市場予想と一致し市場の反応は限定的であった。日経平均が緩やかに下落する中、ドル円は一時143円半ばまで下落した。その後買い戻され、結局143.94レベルでクローズした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.94円レベルでオープン。特段の材料がない中、144円を挟んだみ合い。143.98レベルでNYに渡った。本日、ポーランド中銀が政策金利を決定し事前の予想通り3会連続での据置となった。通貨スワプへの影響は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円前半でスタート。本邦12月CPIが予想を下回り、市場の反応は限定的。しかし、その後はアジア株安に伴った円買いが優勢となり、143.43まで下落。円買い一巡後は米長期金利が上昇する展開に買戻しが入り、143.98レベルでNYオープン。朝方に発表された米11月貿易収支の結果は予想より悪化しなかったが、反応薄。その後、米金利低下に伴い143.67まで下落するも、米金利の下げがその後一服すると、144.48まで戻す。午後に発表された堅調な米3年債の入札結果を受け、発表直後は144.20付近まで売られるも、その後は144.62まで買われ日中高値を更新。終盤にかけては小幅反落し、144.47レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。独11月鉱工業生産が予想を下回った事や、セントノールトガール中銀総裁の「金融緩和を開始するのに5月まで待つ必要はないと思う」等の発言を受け、じり安での推移が続き、1.0941レベルでNYオープン。朝方は1.0951まで上昇するも、その後低下していた米金利が上昇する動きが下押し要因となり、1.0911まで反落。午後は1.0940まで反発し、その後も1.0930付近を中心とした値動きが続き、1.0931レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.90-145.00	1.0880-1.1000	157.30-158.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、小幅に上昇する展開となった。欧州時間は方向感乏しく、144円前半で推移、米国時間序盤に米10年債利回りが4%台を割り込む動きにつられて、143.60円台に弱含む局面があった。しかし、米金利が上昇に転じるとドル/円も反発、144.62円まで上昇する値動きとなった。本日のドル/円はみ合い展開を予想する。11日発表の米12月消費者物価指数が最大の注目材料となっており、結果を見極めたいとの思惑から、様子見ムードが強まると思われる。本日は五・十日の為、実需のフローが入ることも想定されるが、一巡後は144円台でのレンジ相場となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大熊・岩下